

厚生労働省北海道労働局発表  
平成27年7月16日

【担当】

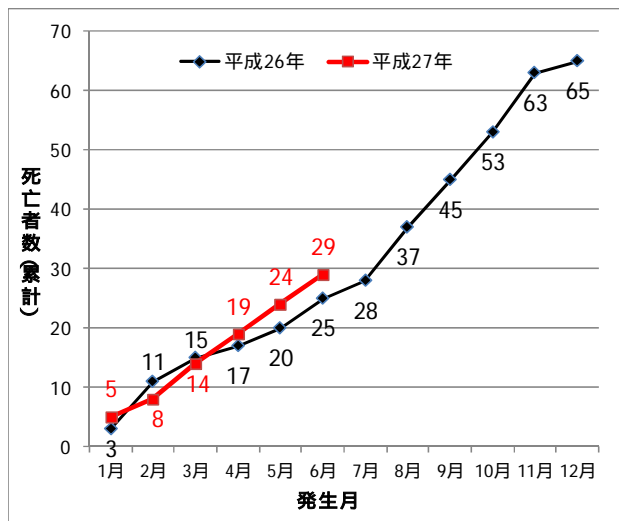
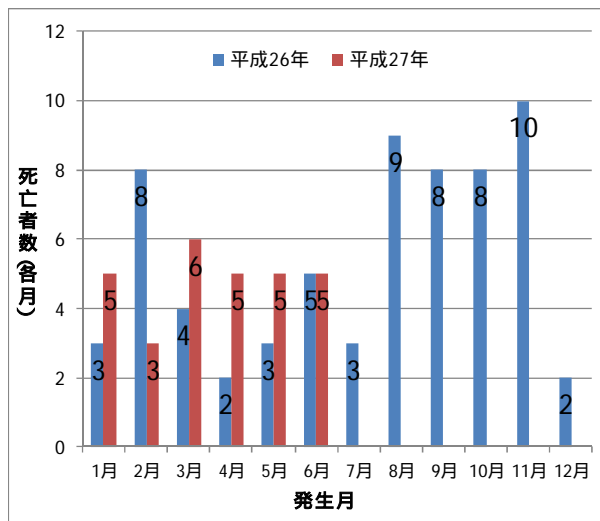
北海道労働局労働基準部安全課  
安全課長 山谷 幸雄  
主任安全専門官 大森 聡  
安全専門官 渡邊 哲也  
電話：011-709-2311(内 3557・3551)  
F A X : 011-756-0056

## 死亡労働災害は4件増加、建設業は倍増！ 死傷労働災害は1.3%減少

- 北海道内の労働災害発生状況（平成27年6月末現在速報値） -

### 1 労働災害による死亡者数（1月～6月）

道内の労働災害による死亡者数は、平成27年6月末現在で29人と、前年同期と比べ4人の増加となっています。



#### （1）業種別の状況

業種別に見ると、「**建設業**」が12人（全体の41.4%、前年同期比6人増）と最も多く、「**製造業**」「**陸上貨物運送事業**」「**林業**」「**商業**」が各2人（全体の6.9%、「**製造業**」は前年同期と同数、「**陸上貨物運送事業**」「**林業**」「**商業**」とも前年同期比1人減）、「**港湾運送業**」が1人の順となっています。

#### （2）事故の型別の状況

災害を事故の型別で見ると、「**墜落・転落**」が9人（全体の31.0%）と最も多く、次いで、「**交通事故（道路）**」が5人（全体の17.2%）と続き、「**はさまれ・巻き込まれ**」が4人（全体の13.8%）と、この3種類の災害で全体の62.1%を占めています。

## 2 労働災害による死傷者数（1月～6月）

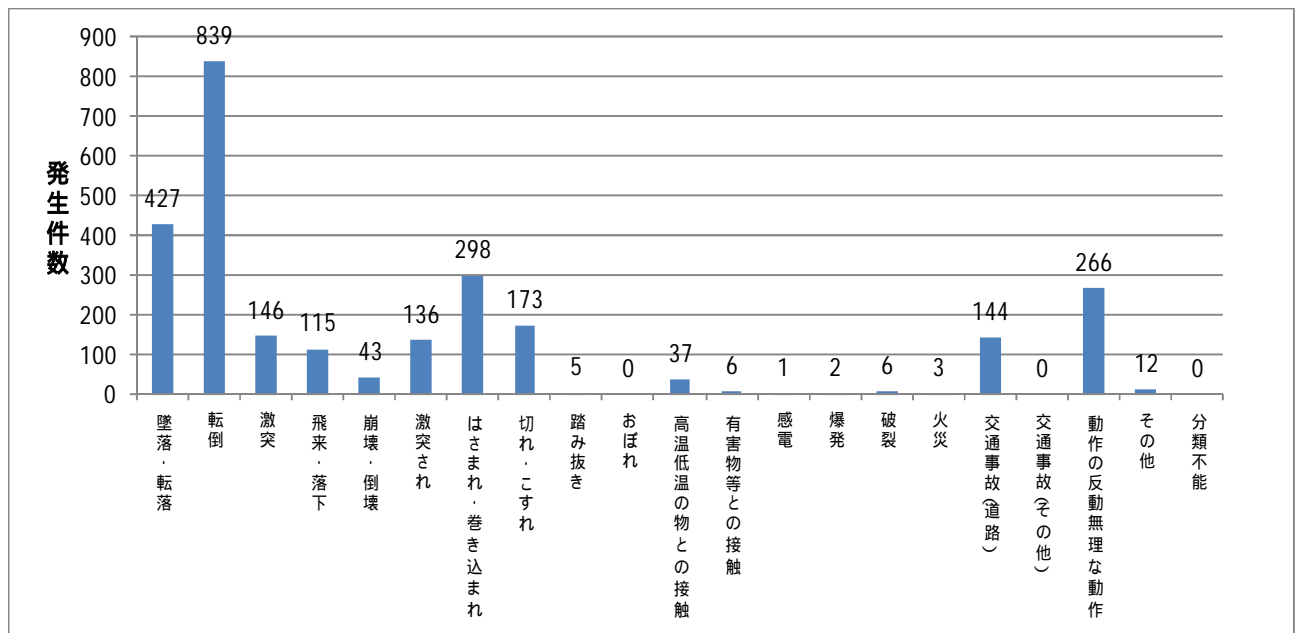
道内の労働災害による休業4日以上死傷者数は、平成27年6月末現在で、2,659人と、前年同期比34人（1.3%）の減少となっています。

### （1）業種別の状況

業種別に見ると、「製造業」が488人（全体の18.4%、前年同期比36人増）と最も多く、次いで「商業」が421人（全体の15.8%、前年同期比2人増）、「建設業」が353人（全体の13.3%、前年比20人減）、「陸上貨物運送事業」が328人（全体の12.3%、前年同期比51人減）の順となっています。

### （2）事故の型別の状況

災害を事故の型別で見ると、「転倒」が839人（全体の31.6%）と最も多く、次いで「墜落・転落」が427人（全体の16.1%）、「はさまれ、巻き込まれ」が298人（全体の11.2%）、「動作の反動・無理な動作」が266人（全体の10.0%）となっています。



## 3 北海道労働局の対応

（1）北海道労働局では、建設業の死亡労働災害の多発に歯止めをかける為、6月17日～8月31日を「建設工事死亡災害根絶運動」の取組期間と設定し、関係労働災害防止団体等と連携して死亡労働災害の撲滅及び死傷労働災害の減少に向けて、取組みを展開しております。

また、7月8日には木造建築工事現場に対して、全道の労働基準監督署一斉の現場パトロールを実施いたしました。

（2）暑い季節を迎え、リーフレットの配布などにより職場における熱中症防止対策を推進しています。

【添付資料】

- 1 業種別労働災害発生状況
- 2 署別・業種別災害発生状況
- 3 平成27年における死亡災害発生状況[速報]
- 4 平成27年における死亡災害発生状況(その他の事業の内訳)
- 5 平成27年 業種別・事故の型別・起因物別死亡災害発生状況  
(リーフレット)
  - 「建設工事死亡災害根絶運動」
  - 「職場の熱中症対策は万全ですか？」